

■島根県教育センター

研究主題：「子どもや保護者の気持ちに寄り添った教育相談」

ー来所教育相談でのいろいろな背景を抱えた子どもとのかかわりを通してー

長期研修員 伊東 亜希子

(教育相談スタッフ 特別支援教育セクション)

【研修の概要】

本研修は、「子どもや保護者の気持ちに寄り添った教育相談」とはどのようなものであるかを体験的に理解することを目的とし、遊戯療法に関わる体験を通して行っている。特に、来所教育相談におけるさまざまな背景を抱えた子どもとのかかわりを通して得た気づきをもとに行っている。また、特別支援教育及び教育相談に関わる文献や各種研修から得られた知識、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターから聞き取りをした情報等も研修の後ろ盾となっている。

【キーワード】

気持ちに寄り添う 教育相談 背景 プレイセラピー

研究主題：実態把握を基にしたユニバーサルデザインの授業づくり

長期研修員 川本 真紀

(教育相談スタッフ 特別支援教育セクション)

【研修の概要】

本研修では、実態把握を基にしたユニバーサルデザインの授業づくりを行うための授業力をつけることを目的とし、文献研修で実態把握の方法を検討するという視点から行っている。みんなが楽しく「わかる・できる」授業を行っていくうえで大切な、子どもを理解するための実態把握について考え、実態に合った手立てを考えていくことについてまとめた。

【キーワード】

実態把握 ユニバーサルデザイン 授業づくり 通常の学級

■島根県教育センター浜田教育センター

研究主題：学級における温かい人間関係づく ～子どもの心をつなぐピア・サポート～

長期研修員 竹下 浩

(教育相談スタッフ)

【研修の概要】

数年前、生徒指導上の問題が頻発する学級を担当していた。児童が孤立したりいじめが起きたりしたが、問題に対する有効な手段を打てなかった。授業力も低く児童の信頼を失った私は児童の心がつながっている温かい学級にしたい、そして児童から信頼される教師になりたいと強く思った。そのために教育相談の力や授業力を高め、児童の心をつなげるピア・サポートを導入しようと考えた。

ピア・サポートとは学校教育活動の一環として教師の指導・援助のもとに子どもたちが互いに思いやり、助け合い、支え合う人間関係やスキルを育むために行う学習活動であり、思いやりのある学校風土の醸成につながることを目的としている。

本研修報告では主にピア・サポートを活用したり、授業力を高めたりすることで温かい人間関係づくりを目指すという視点に立って、自分が実際に体験したことや考えたことをまとめた。

【キーワード】

ピア・サポート 温かい学級 子どもの心をつなぐ 授業力 信頼

研究主題：「教職員全体で取り組む特別支援教育」

－中学校特別支援学級生徒の自立活動の目標から考える－

長期研修員 大畑 宏美

(教育相談スタッフ)

**【研修の概要】**

本研修は、教職員全体で特別支援教育に取り組んでいく方法を探ることを目的とし、生徒の自立活動の目標を教職員で共有し意識していくという視点から行っている。対象は、中学校での特別支援教育としている。特に特別支援学級生徒の自立活動の目標を教職員全体で共有したり、意識したりしながら教育活動を行っていくことができる方法を考え提案し、実践を通して研修を進めた。今年度は、特別支援学級生徒の自立活動の目標を教職員全体で意識することから取り組んだが、この取り組みが全生徒への支援につながっていくことを目指している。現時点では、特別支援学級生徒の自立活動の目標を意識するための効果的な方法を見つけることができているが、時間の有効活用や特別支援教育に対する理解啓発など十分ではないことが課題として考えられる。また、実践してきた方法が全生徒への支援につながっていくものになるかについては検討し、工夫改善を重ねて取り組んでいく必要がある。

**【キーワード】** 特別支援教育 教職員全体 生徒の自立活動の目標 共有すること 意識すること